

# 企業周辺の文化を訪ねる

—— しいなりい ——



詩集『智恵子抄』にも詠まれた  
安達太良山と阿武隈川の自然。  
提灯と菊の花が彩る城下町。

福島市と郡山市の中間に位置する二本松市は、西に安達太良連峰、東に阿武隈山系を眺め、中央を阿武隈川が流れる自然豊かな市。年間平均気温は11℃前後で、気候と湧き水を生かした酒造りと温泉観光で知られています。江戸時代には藩主・丹羽氏が治め、現在も提灯祭りや菊人形が盛大に催されるなど、歴史と文化が香る城下町。詩人の高村光太郎の妻・智恵子の故郷としても知られ、美しい風景とロマンを求めて、全国から文学ファンが訪れます。



取材・写真協力：二本松市役所

## ① 二本松の提灯祭り

二本松城主・丹羽光重公が御両社（二本松神社）を遷宮した後、1664（寛文4）年に始めた例大祭。10月4～6日に開催され、1台に300個もの紅提灯を下げた太鼓台の眺めは圧巻です。



## ② 安達太良山

磐梯朝日国立公園の南端にそびえる標高1,700mの名山。古くは万葉集に詠まれ、高村光太郎の詩集『智恵子抄』で、「ほんとの空」と表現された豊かな空と自然が広がっています。10月には美しい紅葉が見頃を迎えます。



# 福島県

## 二本松市



### ② 二本松の菊人形

1955年(昭和30年)から始まった、二本松の秋を彩る恒例行事。今年は、「幕末維新伝」をテーマに10月10日~11月23日開催予定。紅葉の県立霞ヶ城公園で、菊の香りと歴史ロマンを堪能できます。

### ④ 岳温泉

安達太良連峰の鉄山を源泉とする高原の温泉郷。全国的にも少ない酸性泉で、殺菌力の高い「直しの湯」として有名です。湯元から約8km、4,000本もの湯樋管を通して届けられる湯は、自然に湯もみされて柔らかな肌触りと評判です。



### ⑤ 二本松城跡(霞ヶ城)

15世紀中頃、畠山氏の居城に始まり、17世紀中頃からは丹羽氏が220年間居城。幕末には戊辰戦争で戦火に巻き込まれました。現在は二本松少年隊の群像も建つ、憩いの公園として親しまれています。



### ⑥ 智恵子の生家・智恵子記念館

彫刻家で詩人の高村光太郎が生涯愛した妻・智恵子は洋画家でした。造り酒屋の生家には愛用品が、裏手の智恵子記念館には作品がそれぞれ展示され、智恵子を偲ぶことができます。



### ⑦ 安達太良山の清水で造った地酒

安達太良山の雪どけ水から生まれた伏流水は酒の仕込みに最適で、二本松では酒造りが盛んに行われてきました。良質の水、旨い米、厳しい冬の寒さがつくり出す地酒の味は格別です。

